

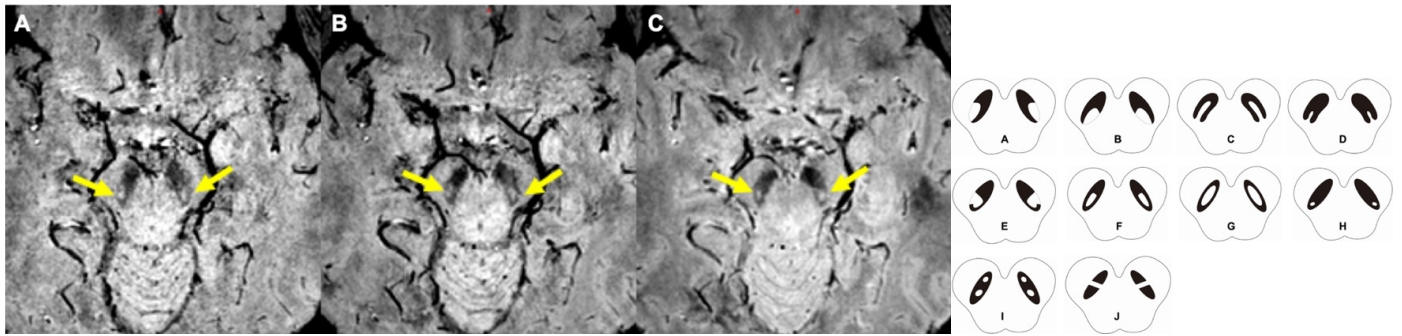
## 医療関係者の皆様へ

パーキンソン病の鑑別診断に有用な Nigrosome 1 撮像が MRI で可能となりました。

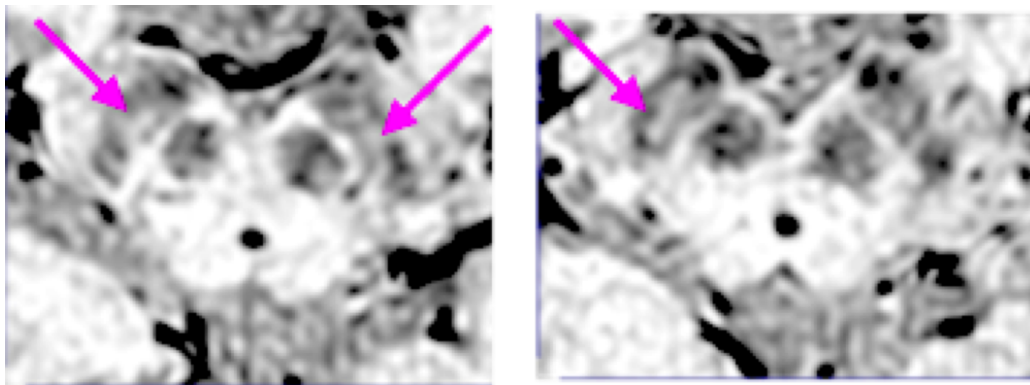
(2024年6月、文責 金桶吉起)

パーキンソン病 (PD) は、中脳黒質緻密部の変性によりしんせん、固縮、歩行障害などの運動障害をきたす神経難病ですが、鑑別診断に苦慮することも多くあります。今回当院では、PD において黒質緻密部の中でも最も早く変性が起こるとされている領域である Nigrosome 1 の描出が MRI によって可能となりましたので、お知らせいたします。この領域は正常では黒い黒質内に白く抜けたように描出されますが (下図参照)、PD でははっきりしなくなります。したがって、Nigrosome 1 がはっきりと認められたら PD は否定的となります。通常の脳 MRI 撮像では検出できず、当院では高空間分解能 VenoBold (1) を用いて撮像を行います。ご依頼の際は、「Nigrosome 1」または「パーキンソン病の鑑別診断」とご指定ください。

Nigrosome 1 は黒質 (黒い部分) の中に燕の尾のように白く抜けて見える (矢印) (2)。見え方のバリエーションを示す模式図を右に示す。



当院での撮像例 (65歳健康男性)



- (1) Kathuria H, et al. *Mov. Disord. Clin. Practice* 8, 224-230, 2021.
- (2) Cheng Z, et al. *NeuroImage: Clinical* 25, 2020, 102103 より図を引用
- (3) Yun Jung Bae, et al. *Radiology* 300, 2021 (<https://doi.org/10.1148/radiol.2021203341>)
- (4) Bienes GHAA, et al. *Tremor Other Hyperkinet Mov (N Y)*. 2021; 11: 17